

Transforming
patients' lives
through science





人の手のデザインはブリストル マイヤーズ スクイブの象徴＝シンボルです。
患者さんを癒し、ケアを提供する「手」。
人としての気持ちや、温かみをもって日々の業務にあたり
それを先駆的な治療薬に取り入れる姿勢を示しています。
人間味のあるサイエンスで、患者さんにより良い結果をもらたす
という信念が込められています。

 ブリストル マイヤーズ スクイブ

OUR MISSION

深刻な病気を抱える
患者さんを助けるための
革新的な医薬品を開発し、提供する

OUR VISION

世界のリーディングバイオファーマ
企業となり、サイエンスを通じて、
患者さんの人生に違いをもたらす

OUR VALUES

INTEGRITY

患者さん、顧客、同僚に対する
すべての取り組みにおいて、
倫理、誠実さ、品質を優先します。

URGENCY

治療を待ち望む患者さんのために、
スピードを重視し、一丸となって
高い品質をお届けします。

ACCOUNTABILITY

一人一人がブリストル マイヤーズ
スクイブの成功に責任を持ち、
透明性を重視し、任務を果たします。

INNOVATION

患者さんのために、
斬新で大胆な方法を追求します。

PASSION

卓越した結果を生み出すために、
積極的に学び、情熱を持って最善を
尽くします。

INCLUSION

多様性に富み、
誰もが最大の可能性を発揮できる環境を
意識的に築きます。

INDEX

OUR MISSION / OUR VISION / OURVALUES / BristolMyersSquibb / BMSKK EMPLOYER VALUE PROPOSITION /
HISTORY / GLOBALPRESENCE / KEY PORTFOLIO / A HERITAGE OF IMPROVING LIVES THROUGH INNOVATION /
TOTAL REWARDS & GROWTH OPPORTUNITIES / INCLUSION & DIVERSITY / CSR



プリストル・マイヤーズ スクイブ 株式会社



Bristol Myers Squibb

代表取締役社長
勝間 英仁
Hidehito Katsuma



GLOBAL

会社名	Bristol Myers Squibb
最高経営責任者	クリス・ボーナー Chris Boerner
本社	アメリカ・ニューヨーク
株式上場	ニューヨーク証券取引所 (NYSE)
証券コード	BMY

世界の純売上高	483 億ドル (2024年)
世界研究開発投資	112 億ドル (2024年)
事業内容	バイオファーマ

JAPAN

会社名	プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
代表取締役社長	勝間 英仁 Hidehito Katsuma
設立	1960年6月1日
Japan 資本金	113 億 4,000 万円 (2024年)
Japan 売上高	1,902 億円 (2024年)

本社	東京都千代田区大手町 1-2-1 Otemachi One タワー
製造拠点	愛知工場 (2025年6月)
事業内容	医療用医薬品の開発・輸入・製造・販売
従業員数	約 1,429 人 ※契約社員等を含む (2025年6月時点)

これまでの自分や常識を超えていけるのは自分だけ

プリストル・マイヤーズ・スクイブでは、自ら考え、常に新しいことに挑戦する人々を応援しています。
一人ひとりが自分らしい働き方で、最大限の力を発揮できる場所です。

チームの仲間と登り、たどりつく最高の景色

プリストル・マイヤーズ・スクイブでは、多様なバックグラウンドを持つ仲間から刺激を受け、
協力し合うことで、組織として大きな目標を成し遂げていきます。
素晴らしい人々と触発しあいながら自分の才能を発揮していくことで、
チームや会社への自らの貢献を実感できます。

価値提供

BMSKK EMPLOYER VALUE PROPOSITION

いのちに寄り添い、いのちをつなぐ。

This is where transformations happen

挑戦し続けられるやりがいのある仕事

プリストル・マイヤーズ・スクイブでは、患者さんに寄り添いながら、
未来の医療を創造する最前線に立つことができます。
自らの専門性を発揮して、最先端の事業やイノベーションに携わることができます。

Bristol Myers Squibb

HISTORY

GLOBAL

1858	エドワード R スクイブ博士が医薬品の製造業務を開始
1887	ウィリアム M ブリストル、ジョン R マイヤーズ、他 2 名がクリントン ファーマシューティカル カンパニーを設立
1899	クリントン ファーマシューティカル カンパニーがブリストル マイヤーズ カンパニーに名称を改めブルックリンに移転
1948	ブリストル ラボラトリーズ社が、持続型ベニシリン注射剤の Flo-Cillin96 および鎮痛剤のバファリンを発売
1956	ブリストル マイヤーズ社が、日本の財団法人微生物化学研究会との提携に基づき、がん治療薬の開発を開始
1989	スクイブ社とブリストル マイヤーズ社が合併し、ブリストル マイヤーズ スクイブカンパニーが誕生
2019	セルジーン社と統合
2020	新しいコーポレートブランドとビジョンを設定

JAPAN

1960	日本スクイブ株式会社発足
1961	ブリストル萬有研究所株式会社発足 (1984 年「ブリストル・マイヤーズ 研究所株式会社」に社名変更)
1963	日本ブリストル・ラボラトリーズ株式会社発足 (1979 年「ブリストル・マイヤーズ株式会社」に社名変更)
1975	ジンマー・ジャパン株式会社設立
1990	日本スクイブ株式会社、ブリストル・マイヤーズ研究所株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社、ジンマー・ジャパン株式会社の 4 社が合併し、ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社となる (2010 年ブリストル・マイヤーズ株式会社に合併し解散)
2000	医薬品事業の分社により、ブリストル製薬株式会社発足
2002	ブリストル製薬株式会社を有限会社に組織変更
2007	組織再編にともない、ブリストル製薬有限会社をブリストル・マイヤーズ 株式会社に社名変更
2016	社名をブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社に変更
2021	セルジーン株式会社と法人統合
2022	大手町に本社移転
2025	創立 65 周年を迎える

「ブリストル マイヤーズ スクイブ」は、根本的な治療法が見つかっていない疾患領域に注力し、研究・開発を行うグローバル・バイオファーマ企業です。130 年を超える歴史を有する大手製薬企業の規模、そしてバイオテクノロジー企業のスピードを兼ね備え、多くの革新的な新薬を創出しています。

旧セルジーン株式会社

2005	セルジーン株式会社設立
2010	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療薬としてレプラミド、レナデックスを発売 レプラミド、5 番染色体長腕部欠失に伴う骨髄異形成症候群の承認を取得
2011	日本製薬工業協会 (JPMA) 会員に加盟
2013	本社を東京都千代田区丸の内 2 丁目に移転
2015	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療薬としてボマリストを発売 レプラミド、剤形追加の承認を取得 レプラミド、未治療の多発性骨髄腫の効能・効果の追加承認を取得
2017	レプラミド、再発又は難治性の成人 T 細胞白血病リンパ腫の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得 イストダックス、再発又は難治性の末梢性 T 細胞リンパ腫での承認を取得
2019	ボマリスト、用法および用量の追加承認を取得 米セルジーン社と米ブリストル マイヤーズ スクイブ社が統合
2020	レプラミド、再発又は難治性の滤胞性リンパ腫および辺縁帯リンパ腫に対する効能・効果および用法・用量の追加承認を取得
2021	ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社とセルジーン株式会社の法人統合を行い、ブランドをブリストル・マイヤーズ スクイブに統一 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社を存続会社とする吸収合併であり、セルジーン株式会社は解散)



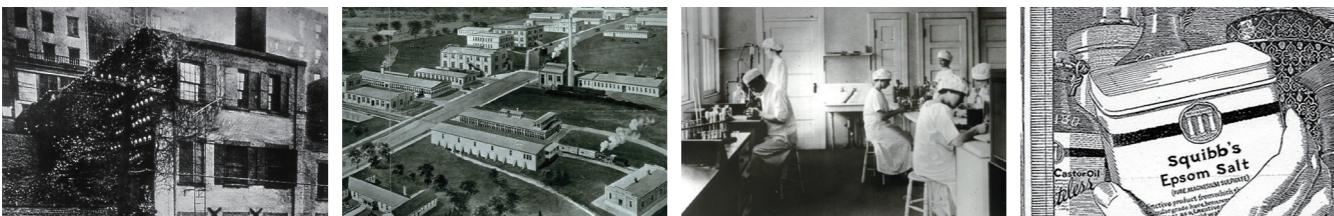
Dr. Edward Robinson Squibb
1819-1900



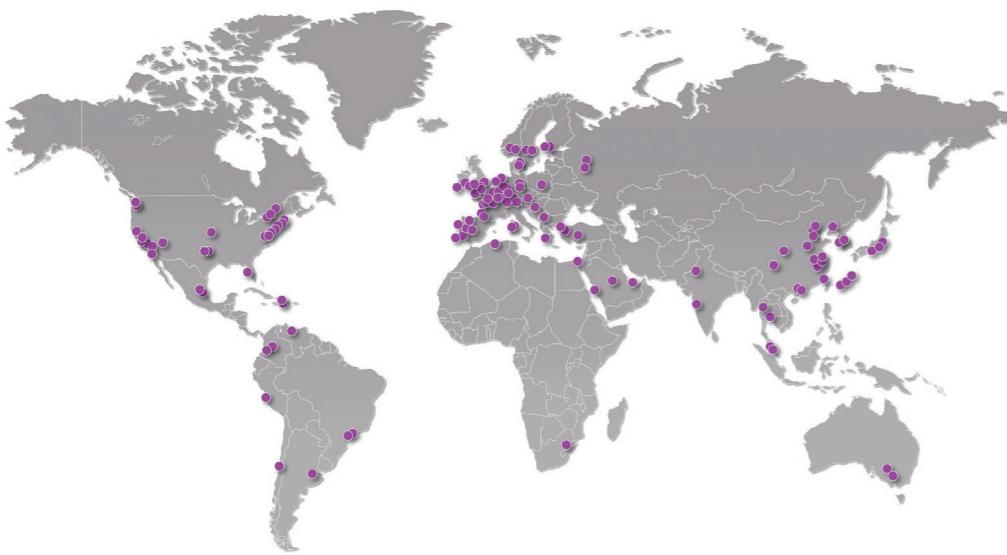
William McLaren Bristol
1860-1935



John Ripley Myers
1864-1899



GLOBAL PRESENCE



主要な世界拠点を結ぶグローバルネットワークを構築して、最先端の研究開発と世界の医療ニーズに迅速かつ確実に応える製造・供給体制を実現しています。

主な研究開発拠点

- ・プリンストンバイク (米国・ニュージャージー州)
- ・ニューブランズウィック (米国・ニュージャージー州)
- ・レッドウッドシティ (米国・カリフォルニア州)
- ・ケンブリッジ (米国・マサチューセッツ州)
- ・シアトル (米国・ワシントン州)
- ・モントリオール (カナダ)
- ・リュエイユ=マルメゾン (フランス)
- ・ブレン・ラルー (ベルギー)
- ・モートン (英国)
- ・東京 (日本)

主な製造拠点

- ・フェニックス (米国)
- ・マナティ (ペルトリコ)
- ・クルーズラス (アイルランド)
- ・上海 (中国)
- ・愛知 (日本)

日本での拠点

- ・本社 (東京都千代田区大手町)
- ・工場 (愛知県額田郡幸田町)

愛知工場



愛知工場では、海外のブリストル マイヤーズ スクイブ工場や製造委託会社から輸入した製品を検査・包装し、徹底した品質管理のもと、市場への安定した医薬品の供給を行っています。また、廃棄物のリサイクル率の向上や地域の美化活動への参加など、自然環境との調和や地域社会との共生を目指した活動を積極的に推進しています。

KEY PORTFOLIO

サイエンスとイノベーションの追求

プリストル マイヤーズ スクイブは治療領域全体で、画期的な治療基準をさらに引き上げるべく、大胆にサイエンスを追及しています。

がん

3大がん治療法に加え、第4の新治療法「がん免疫療法」を確立

固形がんにおける標準治療の基準を再定義してきたこれまでの歴史にインスピレーションを得て、私たちの研究者は、世界中の患者さんのために複雑な科学的課題の解決に向け、その取り組みを連続と受け継いでいます。



【一般名: ニボルマブ (遺伝子組換え)
免疫チェックポイント阻害薬
(PD-1 阻害薬)】



【一般名: イピリムマブ (遺伝子組換え)
免疫チェックポイント阻害薬
(CTLA-4 阻害薬)】



【一般名: レポトレクチニブ】
チロシンキナーゼ阻害剤

血液
疾患

アンメット・メディカル・ニーズが高い治療薬を開発

私たちは血液疾患領域における数多くの画期的な成果を達成してきました。
アンメット・メディカル・ニーズが未だ存在する様々な疾患で新たな道を切り開くことに引き続き取り組んでいます。



【一般名: ルスパテルセプト (遺伝子組換え)
赤血球成熟促進薬】



【一般名: ダサチニブ水和物】
抗悪性腫瘍剤
チロシンキナーゼインヒビター



【一般名: エロツズマブ (遺伝子組換え)
抗悪性腫瘍剤ヒト化抗ヒト
SLAMF7 モノクローナル抗体】



【一般名: ポマリドミド水和物】
抗造血器悪性腫瘍剤
抗造血器悪性腫瘍剤



【一般名: レナリドミド水和物】
抗造血器悪性腫瘍剤

免疫細胞
療法

患者さんの細胞を用いたCAR T細胞療法の先駆者

私たちはCD19とBCMAという異なる標的に対する承認されたCAR T細胞療法を持つ唯一の企業です。



【一般名: リソカブタゲン
マラルユーセル】
ヒト細胞加工製品 (CD19 標的)



【一般名: イデカブタゲン
ピクルユーセル】
ヒト細胞加工製品 (BCMA 標的)

免疫系
疾患

革新的な関節リウマチや乾癬の治療薬を開発

皮膚科、消化器科、呼吸器科、リウマチ科におけるアンメット メディカル ニーズに対応するため、意義あるソリューションを提供するために尽力しています。



【一般名: アバタセプト (遺伝子組換え)
関節リウマチ治療薬
T細胞選択的共刺激調整剤】



【一般名: オザニモド塩酸塩】
潰瘍性大腸炎治療剤
S1P 受容体調節剤



【一般名: デュークラバシチニブ】
乾癬治療薬
TYK2 阻害薬

心血管
疾患

脳卒中の発症を予防する医薬を開発

長きにわたる歴史の中で、パラダイムシフトを実現する医薬品を発見・提供してきました。
過去数十年にわたり培ってきた経験と専門知識を活用し、心血管疾患の研究を次の段階へと発展させています。



【一般名: アピキサバン】
経口抗凝固薬
経口 FXa 阻害剤



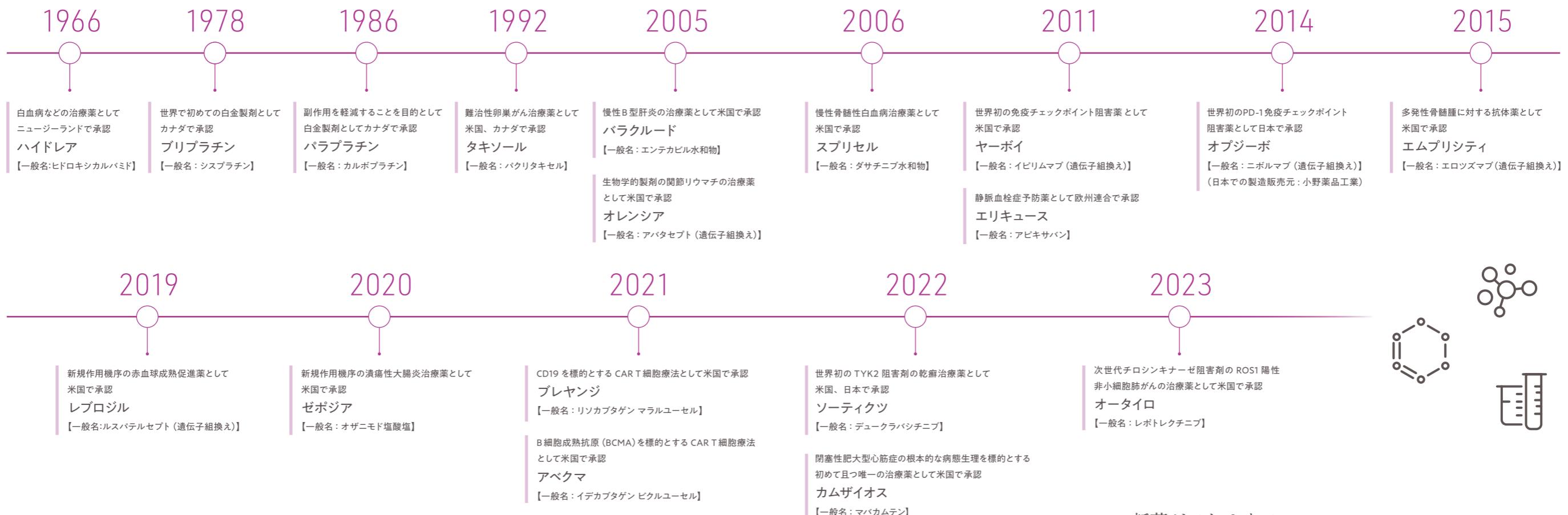
【一般名: マバカムテン】
肥大型心筋症治療剤
選択的心筋ミオシン阻害剤



A HERITAGE OF IMPROVING LIVES THROUGH INNOVATION

革新的な新薬開発の歴史

※国際誕生日にて記載



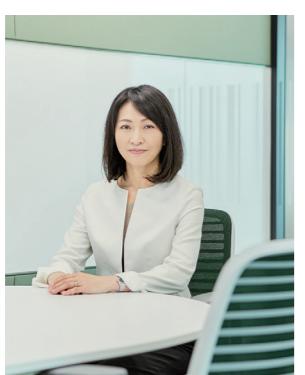
新薬ができるまで



革新的な新薬をスピーディに患者さんに届ける

新薬が世に出るまでには10年以上かかります。その間にはいくつものプロセスがあり、それを支える人々がいます。

患者さんの手元に1日でも早く新薬を届けたいという思いで、新薬開発に取り組んでいます。



秋本 美紀 研究開発本部 薬事部門

私が責任者を務める薬事部門は、薬の開発初期から承認後まで、製品を支え続ける部門です。開発プロジェクトの担当者として、国内外のさまざまな関係部署と連携し、厚生労働省・PMDA*など規制当局との対応をリードします。また、承認された薬を患者さんに安定供給し続けるためのプロセスをサポートするのも、薬事部門の仕事です。

薬が世に出るまでには、いくつものプロセスを通過しなければなりません。薬の候補となる物質を探す「基礎研究」、動物を使って体内での働きや影響を調べる「非臨床試験」、ヒトに投与して有効性や安全性を検証する「臨床試験」を実施し、効果が認められたものだけが患者さんのものとに届きます。少しでも早く新しい薬を届けたいと尽力しても、すべてのプロセスをくぐり抜けて承認される薬は、本当にわずかです。開発が途中で中止となることも少なくありません。このような場合は毎回とても残念に思いますが、承認されたときにチーム全体で共有できる喜びは非常に大きいものです。

ブリストルマイヤーズ・スクイブは研究開発力の高い会社だと思います。がん、血液疾患、免疫系疾患、心血管疾患、線維症といった領域の薬を重点的に開発しており、薬の候補となる物質も多く持っています。領域を集中させることで、革新的な治療薬をスピーディに患者さんに届けることができ、候補となる物質が多いことで、新たな治療の選択肢を提供し続けることができるのです。

この会社では、新たなチャレンジを恐れず、フラットに意見を言い合いやすいカルチャーが尊重されています。今後も、メンバーが活躍しやすい風通しの良い環境を整え、患者さんに対する貢献につなげられるよう、精進していきます。

*独立行政法人医薬品医療機器総合機構「PMDA」

TOTAL REWARDS & GROWTH OPPORTUNITIES

社員の成長の機会

インクルージョン、社員参加、協力的なチームを重視し、社員のキャリアをサポートするためのユニークな能力開発の取り組みを行っています。また、人生のあらゆる段階や節目において、社員を支援するための福利厚生を提供しています。

Wellbeing



- 健康、治療と仕事の両立支援
 - 定期健康診断、生活習慣病検診、人間ドック
 - 子宮がん、乳がん、胃がん、前立腺がん検査
 - HIV 抗体検査、B 型 & C 型肝炎抗原抗体検査
 - 骨粗鬆症検査

Career



- ジョブポスティング制度（社内公募）
 - 原則すべてのポジションで実施
 - 希望する職種へ異動するチャンスは全社員に公平に与えられる
- Tour Of Duty (TOD)
 - 3か月～1年
 - 他国・他部門プロジェクトへの参画
 - 部門を越えた業務の経験

独自のリーダーシップ開発プログラム

目的	内容		期間
企業改革 and リーダー育成	SOAR <i>Success-Oriented, Action and Reflection</i> (次期マネジメント層) 約 15 名	<ul style="list-style-type: none"> グループアクションラーニング (ビジネス課題に関するプロジェクトの提案・推進) ビジネススクールによるケーススタディーセッション 海外ビジネススクールによる最新のビジネス知見の共有 360 度フィードバック・リーダーシップ診断 	約 6 か月
	RISE <i>Raise Impact, Stimulate Excellence</i> (次世代リーダー層) 約 30 名	<ul style="list-style-type: none"> グループアクションラーニング (ビジネス課題に関するプロジェクトの提案・推進) ビジネススクールによるケーススタディーセッション アクションラーニングのテーマ設定の理解を深めるための体験型ワークショップ 	

INCLUSION & DIVERSITY

誰もが自由に力を発揮する

ブリストル マイヤーズ スクイブは人材こそが最大の財産と考えます。自分らしく組織に参加・貢献できる機会を提供し、イノベーションや相互成長を促す「インクルージョン」の推進と、性別や国籍、年齢だけでなく、価値観や考え方、性格の多様性を受け入れ、個々の人材を活かす「ダイバーシティ」に取り組んでいます。



性差による障壁を取り除く

社員が出産や育児などのライフイベントを乗り越え、性別にかかわりなく活躍できる環境を整えています。女性が長期にわたって働きやすい制度だけでなく、男性社員、同性パートナー家庭にとどてもワーク・ライフ・バランスを実現できる環境づくりを進めています。

- 託児所費用の 8 割相当を補助 (一定の条件下)
- 育児のための短時間勤務制度・私傷病休暇の拡大
- 各種ベビーシッターカーポンなど



年齢による障壁を取り除く

若手社員の早期育成や、シニア社員の活躍の場を広げる施策を行っています。また、年齢不問の採用やシニアの知識・能力を活用するための定年後再雇用を推進しています。

- 年齢不問の採用
- 介護休養・介護休暇の拡大
- 介護短時間勤務など



部門間の壁を取り除く

部門間を異動しながら経験を積み、キャリア形成のための支援を行っています。部門の壁を越えて自由闊達にアイデアを出せる人材の育成を図っています。

- ジョブポスティング制度
- クロスファンクション制度
- ピープル&ビジネスソースグループ (PBRG) など

INCLUSION & DIVERSITY

すべての従業員が自分らしく働く

私たちは、患者さん中心のミッションとビジネス目標を達成するために、人材の多様性と独自の視点・体験を重視するインクルージョン文化の推進に取り組んでいます。

ピープル&ビジネスリソースグループ（PBRG）は、当社のビジネスパフォーマンスにインパクトを与える独自の方法でのコミットメントの実現を支援しています。

B-NOW | Bristol Myers Squibb Network of Women

ジェンダーダイバーシティを受け入れ、BMS のすべての女性が、このミッションを重視する文化の中で世界各国で働き続け、成長や昇進・昇格できる平等な機会を確実に得られるようにすることで、ビジネスパフォーマンスを推進しています。

PRIDE | PRIDE Alliance

当社のビジネスを成長させ、人材を採用し、卓越性を養い、最高品質のヘルスアウトカムを実現するために、LGBTQ+ のインクルージョン、意識啓発、エンゲージメントを可能にする文化を通して、BMS のパフォーマンスと評判を高めます。

PAN | Pan Asian Network

アジア系従業員の貢献を尊重する職場環境の構築を進めることで、全世界のビジネスを推進するとともに、BMS がアジア系の患者さん、お客様、他のステークホルダーへの理解を深める支援を提供しています。

DAWN | Disability Advancement Workplace Network

障害を持つ従業員が、他の従業員と同様に評価され尊重されるインクルーシブな職場環境づくりを推進し、それによって個人と会社のパフォーマンスを最大限に高めます。

CLIMB | Cultivating Leadership, Innovation & Multigenerational Belonging

次世代の従業員の活力と貢献を生かした、人材育成、交流、イノベーションを重視するプラットフォームの整備を通じて、グローバルなビジネスパフォーマンスを推進しています。



POSSIBILITY LIVES

私たちは、脳神経科学に基づくインクルージョン文化の形成を目指し活動しています。
おもに以下の3つの行動習慣を広めることに重点を置いています。

Encourage every voice — みんなの声を聴こう

Explore new ideas — 新しいアイデアを探そう

Eliminate barriers — 境界線を取り除こう

INCLUSION & DIVERSITY WORKING TEAM

BMS Japan では全ての従業員がそれぞれの個性を発揮しあわいを尊重できるように、PBRG/Possibility Lives を横断的にサポートしています。
それぞれの活動の価値の最大化に貢献することで全従業員が自分らしさを発揮し、お互いの個性を尊重し合い、成長し続ける組織づくりを目指しています。

働きがいのある企業

あらゆる面で革新的なブリストル マイヤーズ スクイブとその社員は、数多くの優れた賞や表彰を受けています。
環境、平等、健康、安全における業界のリーダーであることを誇りに思っています。

- 「Disability Equality Index®」で6年連続の最高スコア獲得
「障害者インクルージョン Disability Equality Index® における最良の職場」として認定
- Forbes「2024年世界で最も優れた雇用主」に選出
- 「PRIDE 指標 2024」において、二年連続で「ゴールド」認定を取得
- ダイバーシティ & インクルージョン (D&I) を評価する「D&I AWARD 2024」にて、最高位の「ベストワークプレイス」に認定



CSR ー日本における活動

未来の社会のために

ブリストル マイヤーズ スクイブでは、国内外においてさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。従業員だけでなくその家族や友人も参加し、企業市民としての役割と責任を果たすことに努めています。



■ がん研究とがん患者さんへの支援

C2C4C (Continent 2 Continent 4 Cancer Ride) は、がん研究および患者さんを支援することを目的としたチャリティバイク（自転車）ライドイベントで、世界規模で実施しています。12年前に米国の有志の社員によって始まり、その後、欧州に広がり、日本でも2021年から開始しました。2021年以来、C2C4C ライドを通じてアジア太平洋地域の慈善団体に55万ドル以上が寄付されています。毎年エントリーする社員ライダーたちは、がん患者さんへの想いを胸に、過酷なトレーニングを積み重ね、毎年9月～10月に始まる本番のライドを目指します。



■ わかりやすく薬の開発を紹介するために

未来を担う子どもたちに「くすりの開発」に関心を持つきっかけを作るとともに、将来、創薬や医療にかかわる仕事に就きたいと夢を抱く子どもたちをサポートしたいとの思いで「おくすり小学校4年B組」のマンガを用いた冊子を制作しました。ホームページ上でも公開しています。



■ 愛知工場近郊での環境保護活動

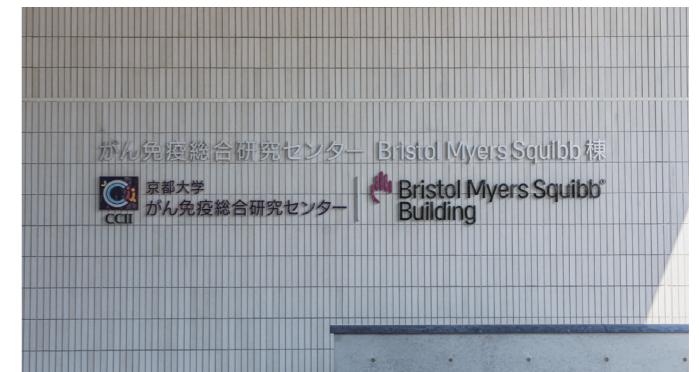
愛知工場の社員が中心となり、アカウミガメの上陸・産卵時期である5月頃に、愛知県やNPO法人、学校や一般企業などと協力し、車両乗り入れの規制や海岸環境保全を呼びかける啓発チラシの配布、海岸の清掃を行っています。その他、愛知工場周辺の清掃や植栽など環境保護活動を定期的に行い、地域社会への貢献活動に取り組んでいます。



■ がん免疫総合研究センター

Bristol Myers Squibb 棟オープン

がん免疫療法の先駆者として、そしてがんとの闘いに強い意志を持って取り組む企業として、ブリストル マイヤーズ スクイブは、2021年1月、京都大学への総額55億円の寄付を発表しました。この寄付は、がん免疫療法の研究を専門とする日本初の研究機関として設置され、ノーベル賞受賞者の本庶佑教授が初代センター長を務める、京都大学医学研究科附属がん免疫総合研究センターの本部棟建設支援を目的としたものです。



CSR 一世界における活動

より良い未来を築くために

私たちの責任は、医薬品の枠を超えて、持続可能性と健康の公平性を支えること。

ブリストル マイヤーズ スクイブでは、ブリストル マイヤーズ スクイブ財団を設立し、地域社会と医療制度を支援して持続的な影響を生み出すことで、格差を埋めることに尽力しています。

■ がんと闘うアフリカの子どもたちを支援

BMS 財団は、アフリカ南東部でがんと闘う子どもたちの予後を改善することを目指し、「グローバル・ホープ」を 2017 年に設立。各国の政府や保健省と協力し、小児血液疾患やがんの診断・治療が実施できる医療施設の建設に取り組んでいます。「グローバル・ホープ」の取り組みは、財団の HIV/AIDS プログラム「セキュア・ザ・フューチャー」の実績から得た学びや経験を活用して進められます。「セキュア・ザ・フューチャー」は、HIV の子どもたちにより良い QOL と明るい未来への希望をもたらし、彼らの成長を支援しています。



■ 中東欧および米国におけるがん治療への取り組み

世界では、がんによって毎年 800 万を超える人々が命を落としていると言われています。BMS 財団の「Bridging Cancer Care」は、中東欧および米国において、がんに関する啓発、教育、治療や支援サービスへのアクセス向上に取り組み、がん患者さんの転帰改善を目指しています。

中東欧では、パートナーと共に、がん治療における看護技術の向上に取り組んでいます。「Bridging Cancer Care」の下、教育の改善や意識の向上、地域におけるがんの転帰改善を目指し、看護師の皆さんと力を合わせた取り組みが行われています。

米国では肺がんの罹患率が最も高い南東部において、マイノリティや十分な医療サービスを受けられない人々に焦点を当てた活動を行っています。予防・発見・教育の革新的なモデルに取り組むと同時に、肺がん患者さんを対象に、治療や支援サービスを受けるにあたってのサポートを提供しています。



ブリストル マイヤーズ スクイブ財団について

ブリストル マイヤーズ スクイブ財団（以下、BMS 財団）は、グローバルヘルスの実現に向けた独立した慈善団体で、当社は BMS 財団に寄付を行っています。

ブリストル マイヤーズ スクイブ米国本社は、1955 年に BMS 財団を設立以来、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。BMS 財団は、私たちの社会貢献活動の源として、社会ニーズに答えるべく、当社のミッションを反映した幅広いプログラムを支援しています。

そして、世界の人々の健康を向上させるという使命のもと、すべての人が最善の健康を実現できる世界の創造をビジョンに掲げています。地域社会の力を引き出し、持続可能な変化を生み出すことで、医療へのアクセス格差を埋めることを目指しています。

■ 患者さんの声に寄り添うために

ブリストル マイヤーズ スクイブは全世界的な取り組みとして、Global Patient Weekを毎年開催しています。このイベントを通じて、私たちは病気と闘う患者さんやご家族に想いを馳せ、「誰のために働いているのか、私たちに何ができるのか」を自らに問いかけ、革新的な医薬品を開発し提供することに対する私たちの使命を胸に刻みます。



■ 科学に基づくアプローチで環境負荷を管理し、目標を設定

2028 年までに 排出量の多いサプライヤーの 75% と連携し、科学的根拠に基づく目標の策定を支援

2030 年までに 購入電力の 100% を再生可能エネルギーに切り替え

2033 年までに Scope 1・2 および Scope 3 (燃料・エネルギー関連活動) の GHG 排出量を 54.6% 削減

2040 年までに 商用車を 100% EV 化、水資源管理を全拠点で実施、埋立廃棄物ゼロを達成

2050 年までに バリューチェーン全体で GHG 排出量ネットゼロを実現

購入品、資本財、上流の輸送および流通を対象
2022 年を基準年とする

